



東北地域の和食文化メールマガジン

令和7年2月21日（金）第69号



【目次】

1. 東北農政局 「食べて応援しよう！in 仙台 2025」を開催します
2. 東北農政局 令和6年度第2回食育セミナーの開催及び参加者の募集
3. 農林水産省 第1回みどり戦略学生チャレンジの受賞チームが決定
4. 農林水産省 GI登録産品が追加されました
5. 農林水産省 「第9回ジビエ料理コンテスト」の受賞者が決定
6. 山形県庄内町 「第18回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」結果発表
7. 認定NPO法人21世紀構想研究会 「第19回全国学校給食甲子園」
8. 味の素 「第12回ジュニア料理選手権」グランプリ受賞料理のレシピ
9. 日本うまみ調味料協会 「郷土料理コンテスト 2024」結果発表
10. 農林水産省 Web マガジン「aff（あふ）」 2月号

=====

1. 東北農政局 「食べて応援しよう！in 仙台 2025」を開催します

=====

東北農政局は、東日本大震災の被災地支援の一環として、被災地の農林水産物等を積極的に消費する「食べて応援しよう！」に取り組んでいます。

この取組の一環として、東北地域の震災復興、農林水産物の風評払拭のため、岩手県、宮城県、福島県の被災3県の農林漁業者、食品事業者が農林水産物や加工品などを販売するイベント「食べて応援しよう！in 仙台 2025」を開催し、被災地の復興を応援します。皆様の御来場をお待ちしています。

日時：令和7年3月15日（土曜日）10時～16時

令和7年3月16日（日曜日）10時～15時

場所：錦町公園（宮城県仙台市青葉区）

【東北農政局 HP】詳細はこちらから→

https://www.maff.go.jp/tohoku/press/keiei/syokuhin/250219_1.html

=====

2. 東北農政局 令和6年度第2回食育セミナーの開催及び参加者の募集

=====

人々の意思決定や行動を自然に望ましい方向へ導くため、行動経済学の理論であるナッジという手法が有効です。

このため、東北農政局では自然に健康になれる食環境づくりを推進するため、ナッジについて学ぶ食育セミナーを開催します。

開催日時：令和 7 年 3 月 6 日（木曜日）13 時 30 分～15 時 30 分

開催場所：仙台合同庁舎 A 棟 8 階講堂（宮城県仙台市青葉区本町 3 丁目 3 番 1 号）

(1) 講演

講 師： 竹林正樹氏（青森大学客員教授、青森県立保健大学非常勤講師）

テーマ：「その悩みナッジで解決できるかも～頭でわかっている、健康行動できない人を動かす～」

(2) 意見交換

ナッジを活用して、日頃抱えている悩みや課題解決に向けて、講師の竹林先生と参加者で意見交換を行います。

(3) 申込締切

令和 7 年 2 月 27 日（木曜日）※定員になり次第締め切ります。

【東北農政局 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/syouan/syouhiseikatsu/250206.html>

<参加申込フォーム>

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/syouan/syouhiseikatsu/070306.html>

=====

3. 農林水産省 第 1 回みどり戦略学生チャレンジの受賞チームが決定

=====

農林水産省は、みどりの食料システム戦略の実現に向けて、将来を担う若い世代の環境に配慮した取組を促すため、大学生や高校生等によるみどりの食料システム戦略に基づく取組を表彰する「第 1 回みどり戦略学生チャレンジ（全国版）」の農林水産大臣賞及び大臣官房長賞の受賞チームを決定しました。

農林水産大臣賞は、失敗から気付きを得て研究を続け新しい肥料を開発した宮城県農業高等学校と、ドローン AI を活用しデータと発酵技術で有機農業の体系化を目指す沖縄工業高等専門学校が受賞しました。

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/250208.html

=====

4. 農林水産省 GI 登録産品が追加されました

=====

農林水産省は、令和 7 年 1 月 30 日、地域の特性を生かした農産品のブランドを守る地理的表示（GI）保護制度に 6 品目の追加を発表しました。

東北からは、「かづの牛」（秋田県）と「川井赤しそ」（岩手県）が追加されました。

「かづの牛」は、希少な日本短角種。脂肪分が少なく、美味しさのもととなる遊離アミノ酸を多く含むことが特徴。適度な歯ごたえや、噛むごとに増す味わいが実需者や消費者から高評価。全国的に短角種の生産が減少傾向にある中、出荷頭数は増加傾向にあります。

「川井赤しそ」は、葉の表が緑色で裏が赤紫色という全国的にも類を見ない「片面紫蘇（かためんしそ）」。「しそ」に比べ、葉一枚あたりの重量が 1.2～1.8 倍で、香りが強いです。

塩蔵品は、漬物等の強い発色を促し、香りも強いいため、「紀州南高梅」の原料として用いられ、また、地域で商品化した「しそジュース」は人気の特産品として定着しています。

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/register/index.html

【農林水産省 HP】地理的表示（GI）保護制度の詳細はこちらから→

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/

=====

5. 農林水産省 「第9回ジビエ料理コンテスト」の受賞者が決定

=====

農村地域で深刻な被害をもたらす有害鳥獣の捕獲数が増加傾向にある中で、これを地域資源としてとらえ、野生鳥獣肉（ジビエ）として有効に活用する前向きな取組が広がっています。

ジビエの普及啓発等に取り組む農林水産省の「鳥獣利活用推進支援事業」の一環として開催した「第9回ジビエ料理コンテスト」において、農林水産大臣賞等の受賞者が決定しました。

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/250206.html>

=====

6. 山形県庄内町 「第18回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」結果発表

=====

つや姫や雪若丸、はえぬき、コシヒカリ等おいしい米のルーツである「亀ノ尾」、「森多早生」発祥の地として、消費者の求める安全安心でおいしい米づくりを全国に情報発信を目的に、山形県庄内町主催による「第18回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」が開催されました。高校生部門やメジャー部門など全4部門に全国から500点出展された中から、福島県立修明高等学校（コシヒカリ）が高校生部門で最優秀賞を受賞しました。

東北からほかにもメジャー部門で善方農園（福島県）、高校生部門で宮城県登米総合産業高等学校が優秀金賞を受賞しました。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://www.town.shonai.lg.jp/kanko/events/komekon/index.html>

=====

7. 認定NPO法人21世紀構想研究会 「第19回全国学校給食甲子園」

=====

本大会は全国の学校給食で提供されている献立を競う大会を通じ、食育を啓発しながら地産地消の奨励を目的に認定NPO法人21世紀構想研究会主催による「第19回全国学校給食甲子園」が開催され、全国1,051の応募の中から食育授業コンテストで遠野市学校給食センター（岩手県）の栄養教諭が食育授業最優秀賞を受賞しました。

東北からほかにも、調理コンテストの優秀賞に遠野市学校給食センター（岩手県）、東松島市学校給食センター（宮城県）、食育授業コンテストの食育授業精励賞に奥州市立水沢南小学校（岩手県）、東松島市学校給食センター（宮城県）、葛尾村学校給食センター（福島県）が受賞しました。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://kyusyoku-kosien.net/>

=====

8. 味の素 「第12回ジュニア料理選手権」 グランプリ受賞料理のレシピ

=====

料理雑誌「オレンジページ」と味の素が主催する「ジュニア料理選手権」は、料理をする子どもたちに光を当てる場を提供することで、家庭料理の楽しさ、作る喜びを知る機会を増やし、家庭での食文化の担い手を永続的に支えていくことを目的にした料理コンテストです。

各部門合わせて16,558作品の中から、個人部門（中学生の部）に「安らぎ餃子」（宮城県）、団体部門（高校生の部）に「Charging サンド」（青森県立三本木高校）がグランプリを受賞しました。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://www.orangepe.net/ymsr/features/juniorcooking2024/posts/11548>

=====

9. 日本うまみ調味料協会 「郷土料理コンテスト2024」結果発表

=====

日本うまみ調味料協会主催によるうまみ調味料を活用して、郷土料理を減塩でよりおいしく！をテーマとした第9回「うまみ調味料活用！郷土料理コンテスト2024」受賞チームが発表されました。

優勝は、神奈川県チームによる「ひつつみ汁（青森県）」が受賞しました。

また、秋田栄養短期大学田中ゼミナールチームの「サメの納豆汁（秋田県）」が郷土愛賞を受賞しました。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://www.umamikyo.gr.jp/contest/2024/>

=====

10. 農林水産省 Web マガジン「aff（あふ）」 2月号

=====

農林水産省では毎月、Web マガジン「aff」を発行しています。

2月号の特集は「今こそ日本酒」です。

日本酒の種類や特徴、素朴な疑問など紹介しています。

【農林水産省 HP】「aff」2月号はこちらから→

https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2502/spe1_01.html#main_content

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL：022-263-1111（内4570）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省のWebサイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局 Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/washokubunkanetwork.html>